

Bonita

Subscription and Licensing Model



New values added (新機能)

Gitとのコラボレーション開発 (Teamworkより)

Bonita StudioにEclipse EGitプラグインを統合し、専用のgitignoreファイルを作成することで、Bonitaプロジェクトのチームとして、共有サーバー上のリソースを確保し、リソースのリビジョンを追跡することが可能になりました。ブランチの管理、2つのファイルのリビジョン間、またはローカルリポジトリとリモートリポジトリ間の相違点の表示、特定のファイルの競合の管理を行うことができます。

専用ドキュメントページのセクションで詳細が確認できます：GitHubでリポジトリを共有する。Git機能とBonita Continuous Deliveryアドオンを組み合わせることで、複数分野のチームがDevOpsアプローチを維持するための最良テクノロジーを提供します。

ビジネスデータ・アクセスコントロール (BDM AC) (Efficiencyより)

この度、REST API Callを介して、BDMデータへのアクセスを保護することが可能になりました。

この機能BDMアクセスコントロールはBonita Studioで利用可能で、ホワイトリストメカニズムとして機能します。

アクセスルールを使用すると、ビジネスオブジェクト全体、または一部の属性のみにアクセスが許可されるため、選択したプロファイルでマップされたユーザーだけがデータにアクセスできます。

BDMまたはプロファイルの変更がBDM、またはプロファイルで行われた場合、BDM、プロファイル、およびBDMアクセス制御間の整合性チェックに役立ちます。

プロファイルによるBDMアクセスを検証するための「プロファイルアクセス」ツールも提供されています。この新しいリソースは、BPMサービスの実行中に管理者ポータルを介してBonitaプラットフォームにインストールして更新することができます。

フォームを一時的に保存する (Teamworkより)

フォームに多数のフィールドが含まれている場合や、フォームを入力するために必要な情報が不足し、後に入力するためには、フォームを保存する必要があります。

この度、新しい「保存ボタン」ウィジェットで可能になりました。これはどのフォームにも追加できます。ユーザーが入力したJavaScript情報は、タスクがまだ「保留中」の状態のときに、Webブラウザのローカルストレージに一時的に保存されます。ユーザーがタスクに戻ると、入力された値がフォームに表示され、欠落したデータを追加できるため、ユーザーはフォームを効率的に送信してプロセス・インスタンスを開始するか、タスクを実行することができます。

新ケース概要

デフォルトのケース概要ページは常にカスタマイズ可能ですが、AngularJSページであり、Bonita UI Designerでは編集できません。更に、そのヒストリー項目では、過去に発生したアクションがレポートされるようになりました。

新しいデフォルトケース概要ページがUIデザイナーでデザインされ、現在使用可能なタスクと、現在の担当者（存在する場合）が表示されます。管理ポータル>リソースメニューから、「自動生成されたケースの概要」としてエクスポートし、UIデザイナーにインポートしてニーズに合わせるできます。

ポータル管理者として、プロセスの詳細ページで、「Overview/概要」の「mapping/マッピング」を更新してカスタムoverviewとして、置き換えてください。

Improvement（機能修正）

カスタムユーザー情報を同期するLDAPシンクロナイザー

グループよりも多くの情報を企業のLDAPからポニータの組織に同期させることができます。LDAPシンクロナイザーは、これらの追加フィールドをカスタムユーザー情報に入力できます。その情報はBonita Studioで定義され、Bonita Administrator Portalで表示または編集され、より良いタスク割り当てのためにアクターフィルターで使用されます。

Bonitaリポジトリ内のUIデザイナー アーティファクト名が読みやすくなりました。

Bonita UI Designerで作成された新しいページ、フォーム、レイアウト、およびフラグメントがリポジトリ上のIDのように、開発者が指定した名前が使えるようになりました。アップデートが必要なものを見つけやすくなりました。

既存のアーティファクトは変更されていません：IDはUUID
名前を変更して新しいメカニズムに切り替えることができます。

UIデザイナーはエンジンログと別にログを記録します。

Bonita Studioの[ヘルプ]メニューでは、エンジンデザイナーのアクティビティをよりよく監視するために、エンジンログとは異なるUIデザイナーログを見つけることができます。

応答性のあるログインページのレスポンス向上

Bonitaポータルとリビングアプリケーションで使用されているログインページは、デスクトップ、タブレット、またはモバイル環境でレスポンスが向上されました。

ポータル アドミン向けBDMメタ情報

BDMをインストールまたは更新するには、BPMサービスを一時停止する必要があるため、その権限はテクニカルユーザーにのみ付与されます。ただし、ポータル管理者は管理者ポータルからBDMアクセス制御ファイルをインストールおよび更新できるため、BDMステータスおよび最終更新日に関する情報を取得できるようになりました。

管理者ポータル「ユーザ詳細」ページの新しいレイアウト

組織内のユーザーのすべての詳細が管理者ポータルのAngularJSページで表示され、管理者ポータルは、さらに一貫性が持てるようになりました。

Bonita Studio ステータス/クールバー

幾つかのバックエンドアクティビティが動いている間、Bonita Studioで作業できるようにするため（特にリモートリポジトリの操作の場合）、Studioウィンドウの右下にEclipseステータスバーが表示されます。Studioで同じ作業スペースを維持するために、クールバーのデフォルトサイズを「小」に設定しました。大きなアイコンとラベルにする場合は、「編集>環境設定>表示」に行き、「クールバーのデフォルトサイズ」を「標準」に設定します。また、クールバーの右端の小さな下向きの矢印をクリックして拡大することもできます。

ビジネスオブジェクト関連

ビジネス・オブジェクト間のデフォルトのリレーションシップ・タイプは、現在、「アグリゲーション」です。以前は「構成（コンポジション）」だったため、いくつかの検証エラーが発生しました。1つのオブジェクトを複数の親にリンクすることはできませんが、集約関係で行うことができます。

アプリケーション記述子 “展開/デプロイ（deploy）”

プロファイルやBDMアクセスコントロールの場合と同様に、エディタですでに利用可能なツールバーボタンの上に、Bonita Studioのアプリケーション記述子メニューに "Deploy" オプションがあります。

プロファイルの変更時のアプリケーション記述子のリファクタリング

Bonita Studioのプロファイルに変更が加えられると、そのプロファイルを参照するアプリケーション記述子がBonita Studioでリファクタリングされ、変更が反映されます。

フランス語のリポジトリは "dépôt"

ローカルリポジトリまたは共有リポジトリのBonita Studioのフランス語の公式翻訳 : "dépôt"に調整されました。

Windows上の正式な署名

スタジオインストーラと同様にBonitaバイナリもWindows OS上で正式に署名され、無用なセキュリティ警告を防止します。

フォームマッピングAPIエラーメッセージ

フォームマッピングAPIをコールして、エラーが発生した場合のメッセージは、エラーの原因を説明し、エラー回復を容易にするオプションを提供するための改善をしました。

Technology updates

Tomcat versionの更新

Bonita StudioとTomcatがバンドルしているTomcatバージョンは、新しくリリースされたTomcat 8.5.31をサポートしています。

AWSに於けるHazelcast

(Enterprise版とPerformance版) Bonita 7.7では、AWS上でHazelcastを直ぐに使用できるようになりました。以前のバージョンでは、Bonitaのインストールを変更する必要がありました。

Feature removals (機能削除)

Jasper 5 コネクタ

Bonita StudioのコネクタからJasperコネクタを削除しました。このコネクタに依存するプロセスがあり、7.7以降で移行したい場合は、次の2つのオプションがあります。

- 以前のStudioバージョンからJasperコネクタをエクスポートする。
- コミュニティのWebサイトからコネクタをダウンロードしてから、**Development > Connectors > Import connector...** メニューを使用して、コネクタをインポートします。

API behavior change (API動作変更)

UIデザイナーURL変更

Bonita Studioに埋め込まれたUI Designer webappは、独自のコンテナ (Bonita EngineおよびPortalのものとは異なる) に「bonita」という名前で (デザイナーの代わり) 展開されています。

結果として、http://localhost:<tomcat_port>/designerの代わりに、URL http://localhost:<designer_port>/bonitaからアクセスできるようになりました。この名前の更新は、UIデザイナーのプレビューが“/ bonita”で始まるbonitaポータルリソースのURLで作業を続けるための要件です。

オープンケース内でGroovyスクリプトのコメント追加

ProcessRuntimeAPIのaddProcessComment () メソッドは、7.4.0では気付かれなくなった振る舞いを変更しました :

Groovyスクリプトから呼び出されたときに、プロセスコメントをシステムユーザが作成したものとして系統的に書き出します。以前はユーザーがタスクを実行していましたが、これはバグBS-14276への修正が原因でした。

ヒューマン・タスクの操作は非同期になりました (v 7.0.0以降) 。

したがって、**addProcessComment ()** のように、Session依存でuserIDを取得するすべてのメソッドでは、-1が値として検出されます。

これは、タスクを実行しているユーザーに代わってアクションを実行するすべてのスクリプトは、スクリプトの実行中にユーザーがログに記録されないため、タスクの担当者に依存する必要があります。実行が非同期であるためです。

この動作は、`addProcessComment ()` メソッド、または同様の問題を抱える可能性のある他のメソッドのv7.4.0より前の状態に戻されることはありません。

`addProcessCommentOnBehalfOfUser ()` という新しいメソッドが導入され、

`addProcessComment ()` メソッドの以前の動作を複製することができます。

この新しいAPIメソッドは、スクリプトでユーザーコメントを残すように設計されています。

注：このユースケースはこれまで考慮していなかったケースです。コメントはユーザー自身が残していると想定していたことが理由です。

実際に、プロセスがBonita v7.3以前に設計されている場合：

- Groovyスクリプト外でメソッドを呼び出す場合、好きなメソッドを使うことができます（`addProcessComment ()` がもっとも実用的です）、プロセスに追加の変更は必要ありません。
- Groovyスクリプトからメソッドをコールし、v7.3以前に設計されたプロセスで7.7にマイグレートし、以前の動作をキープしたい場合は、Groovyスクリプトを修正して新しいAPIメソッドを使用する必要があります。
- プロセスがBonita v7.4,v7.5、またはv7.6で設計されている場合、プロセスの動作は変更されません。ただし、マイグレート時に新しいAPIメソッドにアクセスできるようになり、新しい可能性が開かれます。

Deprecated Workspace API（非推奨ワークスペースAPI）

Workspace APIツール（ヘッドレススタジオビルド）は廃止されました。Bonita Continuous Deliveryアドオンのツーリング・スイートの一部である**LABビルダー**を使用することをお勧めします。

Limitations and known issues（制限事項と既知の問題）

- Bonita Studio Git機能に依存しているEGitプラグインは、多くの機能を統合しており、これまでにフランス語と英語に翻訳されたものはごくわずかでした。Eclipseコミュニティに最高の翻訳を提供するためには、もっと時間が必要です。したがって、フランス語とスペイン語の翻訳はすべて7.7.1になります。乞うご期待。
- MacOS環境：MacOS El Capitan 10.11.4（2016年3月）以降、新しいセキュリティルールがBonita Studioの起動を妨げています。
System Preferences>Security & Confidentiality（[システム環境設定]> [セキュリティと機密性]）で起動したアプリケーションのセキュリティを一時的に削除する必要があります。
- プロセスの表示名は、デフォルトのJasperレポートを除き、Bonitaポータルのどこでも（プロセスデザイン上で設定されている場合）使用できます。
- V7.6.0以降、デフォルトのリビングアプリケーションのレイアウトでは、リビングアプリケーションのiframeに渡されたURLは、エンコードされません。

Bug fixes

Bonitasoft Release noteをご確認ください。

<https://documentation.bonitasoft.com/bonita/7.7/release-notes>